学校番号	３２５

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「書道Ⅲ」　（東京書籍）						
副教材等	自主作成プリント　等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・表現と鑑賞の幅広い活動を通して、書を愛好する心情を育みましょう。
・漢字の書、仮名の書、漢字仮名交じりの書に親しむ活動を通して感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深めます。
・様々な場面に対応できる書写能力を育てながら、主体的に個性的に自己を表現する能力を高めます。
・２年間で培った技能を余すところなく発揮し、作品制作に取り組みましょう。

2　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、個性豊かな表現を工夫している。	書道Ⅰ、Ⅱの学習をいかし、創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	大字少字数作品制作	・全紙二分の一、もしくは三分の一に漢字一文字の創作をする	○		○		a:大筆で大字創作することの楽しさを味わい、主体的、個性的な表現に取り組もうとしている。 b:書道の楽しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c:大筆の使い方、構成などの技術を身につけ、表現している。 d:大字創作のよさを創造的に味わっている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品
	スクラッチ皿作品制作	陶器の皿を用いての制作		○	○		a:実際に使うものの制作について、意欲的に取り組み、表現の構想から完成に至るまでの充実感や達成感を味わおうとしている。 b:感興や意図に応じた表現を構想し、立体として引き立つ字形や用筆等を考え個性的な表現を工夫している。 c:　感興や意図に応じた表現を構想し、全体の構成を考え、今まで学習した用筆や字形の取り方を用いて、個性的な表現をすることができる。 d:書の美を構成する要素を理解している。	・観察 ・ワークシート ・提出作品
	コンクール出品作品の練習・制作	・半紙作品の制作 ・自分に合う古典、および創作題材を選んで制作する		○	○		a:コンクール入賞をめざして意欲的に取り組もうとしている。 b:自分の技能に適したものを選択し表現を工夫しようとしている。 c:臨書、創作において半紙作品として制作できている。 d:自らの作品を鑑賞し、よりよくなるよういかすことができる。	・観察 ・ワークシート ・提出作品

2	臨書大作 作品制作	・半切に臨書する ・個人で古典課題を選択して取り組む		○	○		a:題材の選定、作品の構想、完成に至る制作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている b:感興や意図に応じた表現を構想し、古典の字形や用筆等を考え個性的な表現を工夫している。 c: 感興や意図に応じた表現を構想し、古典の字形や用筆等を用いて表現することができる。 d: 書の美を構成する要素を理解している。	・観察 ・ワークシート ・提出作品
	軸作品制作	・自分で五行詩を考える ・自宅に飾るための軸作品の創作 ・表装し、軸に仕立てる		○	○		a:文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞、また表装の活動に意欲的に取り組もうとしている b:各書体のよさを感じ取り、作品の意図を明確にし、表現を工夫している。 c:作品の意図を明確にするための表現、そして表装の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品
3	漢字仮名交じりの書の合作	・校歌を題材に、全員で創作する ・構成、パート分け、等、みんなで話し合って決める	○	○	○		a:合作に意欲的に取り組み、表現の構想から完成に至るまでの充実感や達成感を味わおうとしている。 b:感興や意図に応じた表現を構想し、書体・書風や用筆等を考え集団での表現を工夫している。 c: 合作であることを理解し、感興や意図に応じた表現を構想し、古典の字形や用筆等を参考に調和する表現をすることができる。 d:他者との調和を考え、書の美を構成する要素を理解している。	・観察 ・ワークシート ・提出作品

	３年間の振り返り	・３年間の書道について振り返る				○	a:1 年間の学習について、主体的に振り返ろうとしている。 b:振り返りを通して、書を愛好する心情を育てられるよう、工夫している。 c:自らの学習したことを振り返り、言葉にできる能力が身についている。 d: 学習の振り返りを通して、書のよさや美しさを再確認している。	・観察 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　　b:書表現の構想と工夫
c:創造的な書表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。